

ワクチンはどうやって病気を防ぐ？

ニュース



新型コロナのワクチン接種を受ける東大病院のスタッフ＝3月8日

新型コロナウイルスの感染対策として、医療従事者やお年寄りを対象にワクチンの接種が始まったね。ワクチンが病気を防ぐ仕組みを、かほピョンが取材したよ。

病原菌やウイルスが体

ワクチンで防げる病気には風しん、はしか、水ぼうそう、インフルエン

に入っても病気にならない状態を「免疫がある」と言います。弱くした病原菌やウイルスなどで作ったワクチンを注射し、病原菌を攻撃する免疫を作ったり、すでにある免疫を強くしたりするのが予防接種です。



弱い病原菌で免疫作る

ザなども。病気にかかったり重症化したりするのを防ぐ効果があります。

国立病院機構仙台医療センター（仙台市宮城野区）の西村秀一ウイルスセンター長は「ワクチン最大の目的は個人を守ること。病気になる人が少なければ、医療機関の負担が軽くなり、社会が安定する」と説明します。

弱いとはいえ、体にワクチンを入れるので、接種後に熱が出たり、注射したところがはれたりする副反応が出ることも。厚生労働省は「注射の後に気になる症状が出たら、注射を受けた医療機関にまず相談を」と呼び掛けています。

接種が進み、免疫を持つ人が多くなると、その病気が流行しにくくなります。これを「集団免疫」と呼びます。

はしかや風しん、日本脳炎などのワクチンは、赤ちゃんが母親からもらった免疫が薄れてくる時期に打つ必要がありません。病気ごとに接種のタイミングが定められ、無

料で受けられます。



新型コロナウイルスのワクチンは、日本では16歳以上が対象です。子どもに実際に打ってみて影響を調べる治験データがそろっていないため、16歳未満に打つことはまだ認められていません。

西村さんは「小中学生がワクチン接種を受けるのはまだ先になりそう。3密を避け換気をよくし、マスクを着用するなどの予防策を続けてほしい」と話します。

自分を守ると同時に、周りの人へ病気をうつさない効果があるんだね。体調に気を付けて新学期を過ごそう。

こども記者 大募集

週刊かほピョンプレスはこども記者を募集しています。気になること、調べたいことを一緒に取材して記事を書いてみよう。グループでの応募も大歓迎。メールで連絡してね。アドレスはkyopro@po.kahoku.co.jp

今週の注目ニュース

◇22日（木）アースデー
地球環境について考える日だよ。1970年のこの日、アメリカで環境問題について呼び掛ける大きな集会が開かれたのが始まりで、各国に広がったんだ。環境のためにできること、みんなも考えてみよう。

かほピョンの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ